

ちとせ観光通信

～千歳一遇～ せんざいいちぐう

発行 一般社団法人 千歳観光連盟

066-0019 北海道千歳市流通3丁目4-1

電話 0123 (24) 8818

FAX 0123 (24) 8819

2024年7月15日発行 【再刊第24号】

今号の話題

- 支笏湖夏まつり開催
支笏湖チップ販売に長蛇
- 香港中高生が本道で修学旅行
観光連盟が調整を担う
- 支笏湖チップ釣果好調

6月は11万7000匹

2024年度定時社員総会 誘客促進、新コンテンツ開発等

さらなる観光振興、経済効果へ

観光連盟は6月28日、定時社員総会を市内で開催しました。23年度事業と決算を承認いただいたほか、24年度事業も決定。引き続き国内外観光客の誘客と情報発信、効果的なプロモーションの検討、新たなコンテンツの開発など、千歳と周辺地域の観光を盛り上げる施策に尽力してまいります。

冒頭のあいさつで観光連盟会長の小田賢一は、新型コロナウイルスの5類移行後に北海道経済は国内外観光客増加の兆しが見えており、千歳市内では23年度観光入込客数は189万5400人と、コロナ前の19年度と比べて4割にとどまり、「道半ば」であること



24年度事業などを決めた定時社員総会

を説明。一方で宿泊客は19年度の水準に回復しつつあり、支笏湖などでもにぎわいが戻りつつあることを報告しました。

組織体制の強化・充実を念頭に関係者との連携を強めることも強調し、「観光消費額の増加や閑散期の誘客に向けて効果的な施策を

推進し、千歳の観光振興、経済活性化の中核としての使命と役割を果たしてまいりたい」と述べました。

議事では、23年度事業を報告。同年度の公益事業「観光プロモーションに係る事業」は、アジア初開催となるアドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット北海道（ATWS北海道）開催に際して行政や民間事業者と連携して公式日帰り体験ツアーを実施したほか、第1回ウエルネスツーリズムEXPOへの出展、「Visit Japan FITフェア」への参加とタイ、シンガポールでのプロモーション活動、首都圏に向けた誘客活動などに取り組ましました。

「新たな観光創出事業」は、ユニバーサルツーリズム事業として車いすインフルエンサーを招いた美笹キャンプ場でのキャンプを開催。eスポーツ推進やアドベンチ

ヤートラベル推進のためアメリカやカナダの旅行会社を招聘した千歳市内のコンテツ視察などを行っています。「受入環境整備に係る活動」は、千歳観光連盟支笏

湖支所を12月19日に開設し、3月31日まで2002人（国内652人、海外1350人）の来訪がありました。このほか、イベント支援や関東、関西の百貨店の物産展への参加など地場産品の普及・消費拡大などに取り組んできました。

収益事業「千歳観光ステーション事業」は、寿インター駐車場の利用台数は延べ9321台。アウトドア用品レンタルは116件など。「美笛キャンプ場運営（指定管理）」は開場日数176日で、利用者は2万4169人でした。

24年度事業では、まちの魅力、地域価値の向上と地域経済の活性化につながる事業の推進や、滞在

時間延長や観光消費拡大など地域と観光客の双方が観光のメリットを実感できる持続可能な観光を目指す基本方針を定めました。

その上で、観光情報サイト「千歳観光ナビ」やSNSを活用した情報発信、効果的なプロモーションや地域コンテツのブラッシュアップのためのマーケティング調査の実施、観光誘客と地場産品の販促を融合したセールスの展開、新千歳空港を活用したコンテツ開発や着地型旅行商品の造成・販売の促進などに取り組んでまいります。

26年は千歳市空港開港100年の節目であり、最先端半導体の製造を目指すラピダスの工場建設も進行中です。観光連盟ではこれらの状況を好機ととらえ、千歳の魅力的な資源を生かした観光振興と地域活性化、経済波及効果の拡大に貢献していきたいと考えています。



千歳水族館を楽しむ香港の生徒たち

香港中高生、北海道満喫 千歳水族館、ホームステイ、

千歳高校で思い出づくる

北海道運輸局、北海道、観光連盟でつくる北海道訪日教育旅行促進協議会（事務局・観光連盟）は7月3日から5泊6日の日程で、香港の中高一貫校「萬鈞伯裘（マングンハキウ）書院」の13（17歳の生徒13人を本道に迎えまし

た。北海道は酪農体験やスキーなどのウィンタースポーツ、カヌーやダイビング、トレッキングなど、大自然でのアクティビティ環境に恵まれています。年間を通して学びが多く、楽しめる地域のため、学校交流、ホームステイ、ファームステイなどに最適であることを踏まえて、同協議会では事前調整や当日同行など、サポート体制を整えています。

3（8日に北海道に滞在。受け入れに際した各種調整には観光連盟が携わり、期間中は旭川、富良野や美瑛、札幌の観光スポットを訪問。豊かな食も満喫しました。千歳近郊ではノーザン・ホースパーク（苦小牧）やえこりん村（恵庭）を楽しんだほか、市内ではサ

ケのふるさと千歳水族館を見学。大水槽の前に記念撮影し、ドクターフィッシュの水槽に手を入れてみるなど、北海道最大級の淡水魚水族館を楽しみました。

7日夜は千歳市内の家庭でのホームステイ。それぞれの家で和食や日本ならではの家庭料理など、心づくしのおもてなしがありました。最終日8日には千歳高校を訪問。6年ぶりの対面交流となりました。一行は千歳高校の生徒たちと英語で会話。修学旅行生は北海道旅行の思い出を語るなどして、同世代同士で交流を深めました。新千歳空港から帰路に就きました。

千歳市内では野外でのアクティビティや農業体験などのコンテツがあり、空港に近く修学旅行の行程に組み込みやすい利点があります。観光連盟では引き続き、道外や国外の修学旅行受け入れに努めます。



支笏湖チップ塩焼きは大人気でした

支笏湖夏まつり開催

ステージイベント、支笏湖チップも人気

支笏湖夏まつり（第74回支笏湖湖水まつり）が6月30日、支笏湖畔園地で開かれました。好天に恵まれた中、ステージでのパフォーマンスが行楽客を楽しませたほか、支笏湖チップ塩焼きの特価販売ブースは長い列ができるほどの人気ぶりでした。



多くのステージイベントが来場者を楽しませました

国立公園支笏湖運営協議会の主催。観光連盟も開催に協力しています。メインステージでは支笏湖小学校の児童が歌やダンスを披露。アコースティックデュオ Dual March のステージや、アクターズスクール北海道所属の小学生アイドルグループ「エンジェルシスター」のライブを開催。千歳アイヌ文化伝承保存会も古式舞踊を披露し、注目を集めました。会場では、今年は好調な釣果を見せている支笏湖チップを、謝恩価格の500円で販売。炭火で焼き

あげられた塩焼きは香ばしく、味わいも豊か。ブース前には販売開始前から列ができ、買い求めた客が会場内で支笏湖の旬の味覚を味わう姿が見られました。

※ ※ ※

支笏湖チップ釣果好調

6月は11万7000匹

今年の支笏湖チップ釣りは好調な釣果を記録しています。6月の釣果は11万7147匹と、前年の同じ月と比べて約4万7000匹多く、20センチ前後の3年魚と24、25センチの4年魚が8割を占めました。刺身にも塩焼きにも適したサイズが多いのが特色で、支笏湖地域の温泉旅館・ホテルの他、市内の飲食店でも賞味できます。支笏湖チップは千歳を代表する味覚のひとつであり、観光資源です。資源を守りつつ、サケと並んで千歳を代表する魚である支笏湖チップを発信していきます。

サウナ宿巡るスタンプラリー 温泉トトノイ旅開始

サウナが自慢の温泉旅館を利用してスタンプを集める「温泉トトノイ旅 スタンプラリー整印帳」が7月1日からスタートしました。サウナのある道央圏の温泉旅館17施設が企画に参加。整印帳の地図を見ながら旅のコースを決め、旅館・ホテルを利用します。2施設で宿泊、3施設を日帰り入浴で訪れてスタンプを押して応募すると、協賛施設利用券やオリジナルサウナグッズや、飲食券などが当たる抽選に参加できます。

千歳市内では、支笏湖の丸駒温泉旅館としこつ湖鶴雅リゾートスパ水の譚がスタンプラリー対象施設です。応募はお1人様1回。応募締めきり2024年12月31日まで、抽選は25年1月に予定しています。当選者発表は商品の発送をもって替えます。

イベント情報

▼第10回ちとせ川ビールまつり（2024年7月24～26日、グリーンベルトおまつり広場）千歳商工会議所、千歳圏人会共催。千歳市内の経済活性化を目指して、環境に配慮して開催。ダンスやジャズ、自衛隊音楽隊による演奏のほか、演歌歌手の川島まりさん、山本あきさんのステージも披露されます。

▼千歳市民花火大会（7月27日、北千歳駐屯地）例年の住吉ソフトボール場から会場を変えて実施。4部構成で、2800発の花火火を打ち上げる予定です。小雨決行、荒天の場合は28日に順延。打ち上げ開始は午後7時45分。終了は8時30分を予定。同駐屯地内に無料観覧場所を用意しています。33号通りでの駐停車と観覧は禁止です。

▼いす1グランプリ北海道千歳大会2024（2024年8月4日、ニューサンロード商店街特設会場）事務いすに乗ってコースを周回してタイムを競います。優勝チームには北海道産米90キロが贈呈されます。

▼ニューサンロード夏祭り（2024年8月4日、ニューサンロード商店街）同商店街主催で、いす1グランプリと同時に開催。千歳北陽高校吹奏楽部や千産千唱アイドル「小娘（シャオニャン）」のライブをはじめベリーダンス、ヒップホップダンスなども披露。飲食ブースも用意しています。

▼とまこまい港まつり（2024年8月2日～4日、メイン会場は若草町中央公園）同まつり実行委主催。市民おどりパレードやマーチングフェスティバルほか、3日午後7時半からはとまみん苦小牧百年花火を開催。漁港区西側広場が観覧会場です。

編集後記

江別市在住の版画家、手島圭三郎さんの版画を札幌の画廊で買いました。千歳川近くに引越した記念と思い、3羽のカワセミが枝にとまっている姿を描いた小さな作品です。

手島さんの版画を買うのは、ハマナスと子ギツネを描いたものと、湖を背景に枝にとまるシマフクロウを描いたものに続く3枚目。後者は紋別岳から望む支笏湖に雰囲気似ていて惹かれました。

手島さんは元中学校の美術教師で、編集子の父も千歳中学校時代に美術を習ったとのこと。千歳での勤務経験があるなら、紋別岳に登ったのではないか。フクロウの絵の湖はやはり支笏湖では…などと想像するのも楽しいものです。（ひ）